

1. コミュニティセンターの建設



・ギドラヒ村の建設現場。7月3日から工事が始まり、4人の職人が1ヵ月ほどで基礎工事を終えた。右写真は、基礎工事終了後の正面からの様子。完成したセンターは、カーストの位に関係なく、研修や地域のイベント、避難場所など多目的で使用される。



・チャルバルクルワ村の建設現場。2015年の8月末、政府から寄付して頂いた土地で工事を開始。写真は、雨期のために、雨が溜まり、地面にレイアウトを行う前に水抜きをしている様子。

2. コミュニティセミナーの開催



モビリゼーションセミナーの開催 講師：Mr. Peter Lasrado。研修では、事業の目的やセンターの運営方法など事業理解を促進した。6月2日、バルクルワ村の参加者76人。右写真は、農業グループが、地域のシンボルについて話し合っている様子。



コミュニティ開発セミナーの開催 講師：佐藤静代専門家。研修では、目標を共有し、住む村の名前の由来を話し合うなど、地域を再認識し、地域の問題点を議論した。6月3日、2ヶ村(ラニパティ、ギドラヒ村)の参加者68人。右写真は、グループで話した内容を発表している様子。

3. 住民の能力・技術開発トレーニング



(イ)女性自助グループ（SHG）経営研修 講師：Ms. Neel Prabha。研修では、グループメンバーと一緒に貯金をすることで、融資が可能になることを学んだ。7月10、11日(2日間)、2ヶ村（ラニパティ、ギドラヒ村）の参加者138人。絵を使いながら、協力して力を合わせるグループという概念を伝えた。



(ロ)女性の収入向上研修 講師：Mr. Abraham Dennyson。研修では、貯蓄したお金を資本にして、ビジネスの方法、利益の出し方などを学んだ。8月22・23日(2日間)、5ヶ村（チャルバルクルワ、バルクルワ、ハリボラ、ラニパティ、ギドラヒ村）の参加者122人。右写真は、他のグループの活動を動画で紹介。



(ハ)有機農業研修①日本人専門家による農業研修 講師：伊澤正雄農業専門家。研修では、現地で入手可能で安価な竹や牛糞を使用した堆肥作りを行った。6月22日、10ヶ村の15人の村人に加え、8人のスタッフが参加。スタッフが村人に理論と実践を指導できるようになった。



(ホ)幼児教育教師を対象とした研修 講師：Dr. Aditya Nath。研修では、子どもの発達段階に沿った子どもを中心とした教育方法、身体測定や保護者会議、子どものプロフィール作り、教材などの必要性を伝えた。7月15日～18日(3日間)、10ヶ村の幼児教育教師10人に加え、小学生の補講授業教師4人が参加。唄遊びや体を動かして、子ども達が楽しみながら学習できるように指導できるようになった。